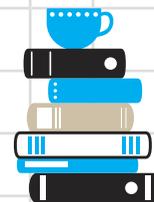


令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター高松



○事業所名	COMPASS発達支援センター高松			
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日		～	令和7年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数)	26
○従業者評価実施期間	令和7年9月5日		～	令和7年9月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年9月16日			

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業所を展開しており、系列事業所との連携があります。各担当者が会議や勉強会をおこない、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れ、計画書や日々の療育に反映しております。	各担当ごとに事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されております。また、不明点については指定権者へ確認をおこない、法令に基づいた適切な事業所運営に努めております。	児童が楽しみながら通っていただける事業所、成長を感じられる事業所、安心して通っていただける事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	作業療法士をはじめとした専門性を有する職員が日々の療育にあっております。また、定期的な研修や勉強会をおこない、知識の向上と更新に努めております。	定期的な研修に加え、日々のミーティングやリフレクション会議、ケーススタディを通して、療育内容の見直しと質の向上に努めております。	利用児童それぞれの個別支援計画の有効性を適宜精査し、必要とあれば修正を加えて、利用児童及び保護者様のニーズに寄り添ってまいります。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	国で定められた基準は満たしておりますが、建物の構造上、空間が狭いのではないかとのご意見をいただいております。	一軒家の構造上、利用人数や活動内容によってはスペースが十分であるかについてご心配をいただいております。	1階および2階に複数の部屋を設けており、活動内容に応じて部屋の使い分けをおこなうことで、安全面に配慮しながら十分なスペースの確保に努めてまいります。
2	事業所専用アプリのメッセージ機能の活用が増えたことにより、意思疎通が図りにくいのご意見をいただいております。	メッセージ中心のやり取りとなることで、対面でのコミュニケーションの機会が減少し、関係性の構築に影響している可能性があると考えております。	メッセージ機能に加え、送迎時の対面でのやり取りやお電話、事業所内での相談、家族支援等の機会について周知をおこない、保護者様が相談しやすい環境づくりと信頼関係の構築に努めてまいります。



公表日：令和8年3月18日